

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道163号 南河路バイパス <small>みなみこうじ</small>		事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県津市大字殿村 <small>つし とのむら</small> 至：三重県津市大字南河路 <small>つし みなみこうじ</small>			延長	1.6 km	
事業概要	<p>一般国道163号は、大阪府大阪市を起点とし、三重県津市に至る実延長約131kmの幹線道路である。南河路バイパスは、一般国道163号の幅員狭小区間及び殿村交差点の渋滞解消を目的とした延長1.6kmの2車線道路であり、安全で円滑な交通を確保し地域の活性化に大きく寄与する道路である。</p>					
H6年度事業化	S58年度都市計画決定	H6年度用地着手	H11年度工事着手			
全体事業費	約2.1億円	事業進捗率	79%	供用済延長	0.5 km	
計画交通量	16,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.2 (残事業) 7.4	総費用： (残事業)/(事業全体) 5/2.3億円 (事業費：4/22億円 維持管理費：1/1億円)	総便益： (残事業)/(事業全体) 37/5.1億円 (走行時間短縮便益：36/48億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/2億円)	基準年	平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保...主要渋滞ポイントである殿村交差点の渋滞解消 ・地域ネットワークの構築...中勢バイパスとの一体整備による津市南西方面からのアクセス向上 ・災害への備え...緊急輸送道路の整備（第2次緊急輸送道路） <p style="text-align: right;">他3項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道163号（津上野間）整備促進既成同盟会（構成：津市、上野市、美里村、大山田村）が結成されており、事業促進が強く望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	本年度、R23中勢BPが当バイパスまで部分供用された。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年度で用地約79%、工事78%の進捗率であり、本年度、R23中勢BPの部分供用に合わせて、中勢BPから終点部の延長0.5kmを部分供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	埋蔵文化財調査と調整を図りながら事業を進捗させる必要がある。					
施設の構造や工法の変更等	大幅なコスト縮減につながる工法の変更等はない。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						